ギャンブルオンブズマン

（ギャンブル依存症を生む公認ギャンブルをなくす会）

大阪市中央区北浜1-2-2　北浜プロボノビル

事務局　井上善雄（[inoue@peacelaw.jp](mailto:inoue@peacelaw.jp)）

TEL：06-6202-5050／FAX：06-6202-5052

会ブログ：<http://gambl.seesaa.net/>（ﾊﾞｯｸﾅﾝﾊﾞｰ他掲載）

**なくそう！**

**ギャンブル被害**

会報第62号　2018/1/12

/

１／２５　/

ギャンブル依存症を生む

　　　　公認ギャンブルをなくす会

大阪市中央区北浜1-2-2　北浜プロボノビル

事務局　井上善雄（[inoue@peacelaw.jp](mailto:inoue@peacelaw.jp)）

TEL：06-6202-5050／FAX：06-6202-5052

会ブログ：<http://gambl.seesaa.net/>（ﾊﾞｯｸﾅﾝﾊﾞｰ他掲載）

【目次】謹賀新年…禁カジノ信念…／初夢悪夢ギャンブルオンブズの2017流行狂歌／依存障害シリーズ(1)「ネトゲ廃人」／カジノへ前のめりする自治体と市民／コラム：宝くじのこりない宣伝、宝くじ・スポーツくじの還元率と期待値（額）・当せん確率、市営岸和田競輪／賭博川柳解説／宝くじ・toto広告川柳／いろはカルタ賭博考（2）／NEWSピックup

**謹賀新年**・・・禁カジノ信念・・・

　皆様、2018年を迎えました。本年は現行の公営ギャンブルについて、戦後の宝くじ70年（1948年～）、競馬70年（1948年～）、競輪70年（1948年～）、オートレース68年（小型自動車競走1950年～）、モーターボート67年（競艇1951年～）、スポーツ振興くじ20年（1998年～）という節目を迎えるときです。

　スポーツ振興くじを除いては戦後の自治体財政や殖産興業の資金作りという特別の条件の下に生まれたものですが、「もはや戦後ではない」どころか高度成長期を経てギャンブルに依らない自治体収益が十分あるのに利権と癒着の下に続いているのです。スポーツくじは、サッカーが盛んとなりスポーツ振興の資金と国立競技場の建設資金を集めるという美名の下に生まれましたが、今や第二の宝くじと化しています。

2016年12月、ＩＲカジノ法が強行採決されました。その後、衆院解散もあり、政府はＩＲ実施法について2018年通常国会へと持ち越しました。

　その理由の第一は、カジノ導入に対する国民の反対の声が高いことです。自民党などのカジノ議連所属議員は多いものの、カジノへの賛否が選挙の当否に関係すれば慎重になるでしょう。また自民党と同じ与党公明党内には異論、慎重論もあります。

　第二の理由は、カジノ導入問題で火の点いたギャンブル依存（障害）等のギャンブル弊害についての認識向上により、被害対策を優先すべきという世論に対し、その対策が進んでいないことです。

特にギャンブル依存症については、ギャンブル等依存対策基本法を検討していますが、実効性はさきにされ、あまりにも微温的でその効果を疑問視する意見が強いです。

ギャンブルオンブズマンはカジノに反対であり、カジノがさらにギャンブル障害を増大させるという見解です。

それだけでなく、事業者（パチスロを含む）が世界低水準レベルでも一定の対応を取りさえすれば、結果として生まれる客（消費者）からの略奪的収益さえも客の納得した行為の結果であり客の責任であるという誤った責任ギャンブル観が一般化する怖れが強いのです。

ギャンブルは、客を射幸心で病にし狂わせ、第三者にまで広く害を及ぼすものです。如何に説明しようと事業者と客の間においては互換性もなく、構造的に収奪する詐欺システムを持っているのです。そして、企業・事業者（主催者）が客の損失で一方的に収益を得る賭博開帳、富くじ発売システムです。特に、賭けの上限（人的制限、時間的制限、賭金限度制限）のないカジノは許されません。

2018年は、禁カジノと既存ギャンブルの人・金・時間の限度を最大限に高める年でなければなりません。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

初夢悪夢　　**ギャンブルオンブズの2017流行狂歌**

森友と　加計　忖度は　安倍のため　カジノ特区はアベノミクスで

ＳＮＳ　インスタ映えの写真など　ギャンブル場は　一切禁止

圧力で　北朝鮮を封じ込め　戦争賭けて　Ｊアラート

不都合は　フェイクニュースの　依存症　責任ギャンブル　政府と業者

嘘もいう　暴言暴力　金を出せ　魔の２回生　やめれぬ嗜癖

小池いう　都民ファースト　イネイブラー　政権かけて　希望をなくし

千兆円　国家負債を　次世代に　睡眠負債は　生命がけ

カジノでは　３５億　気にするな　勝って返すと　百億借金

プレミアムフライデーには　競輪競馬　ボートレースで　遊んで負ける

パチンコの延田興業　ひふみんは　うちの店名１２３

現代用語の基礎知識選　2017ユーキャン新語・流行語大賞のトップテンを使って、ギャンブルオンブズ狂歌にしました。2017年は政治・社会では賭博ともいえる危険な賭けがあまりに多く、堂々と行われています。

　「お金儲けのどこが悪い」と言う人にお尋ねしました。あなたのお金儲けは他人の金を奪う（勝ち取る）ことでしかできないのでしょうかと。ここで私はその“初夢”から覚めました。

　そして、政府の人に、公営ギャンブルは必要でしょうかと尋ねました。すると「賭博は悪いことに決まっている。しかし政府がこれで金を儲け、収益金で公益的なことができる」と答えました。そして、「これからはカジノの収益からギャンブル依存症や弊害をなくすための資金にも使います」と言いました。すると私はその“悪夢”から覚めました。

依存障害シリーズ　　　　第1回　　　「ネトゲ廃人」

〇　現在、ギャンブル依存症は医師専門家の間では依存障害（Gambling　disorder）といわれる。この依存症（嗜癖）は、薬物依存等の物質依存・物質嗜癖（麻薬等薬物、酒・タバコ等嗜好品…）と行動依存（ギャンブル、インターネット、スマホ、ゲーム、窃盗、放火、暴力、自傷、買物、摂食、仕事…）があり、これに関係依存（共依存、セックス、恋愛…）を加えて分類したり、組織・構造・社会に注目してシステム依存（一定の行動を促す社会システム（ギャンブルやインターネットなどのシステム）が存在しそれに没頭するもの）という分類をする人もいる。

　　現代は、遊び・ゲームからギャンブルまで民衆を依存させるシステムが多く存在し、これに金儲け企業が資本主義の下で収奪事業を展開している。ギャンブルでは、政府が収益事業と称して戦争軍事資金や戦後の一時的な災害復旧資金を集めるために行ってきたので、それが大衆の射幸心を刺激し拡大して今日まで続いている。このことは本紙で何回も厳しく批判してきた。

　　しかし、私達の社会には自由経済･営業の自由の美名の下、社会に多くの被害者を生み出しているものも多い。それが物質依存でも行動依存でも、組織化されるとシステム依存の被害者が生まれる。

　今回より、必ずしもまだ社会認識が十分でない依存・障害について紹介していきたい。

〇　その第1回が、「ネトゲ廃人」とまでいわれるインターネットを利用したゲーム依存である。

　ネトゲとはインターネットゲームの略語で、廃人とは著しくゲームにのめり込み依存している人をいう。得点を争って昼夜の大半をネットゲームに費やしている人自らも、その依存状態を自虐的にネトゲ廃人というようである。

　2017年11月8日のＮＨＫ深夜番組で「ネトゲ廃人」が顔を隠して出演し、ネトゲの実態を赤裸々に証言していた（司会は南海キャンディーズ山里亮太、ＹＯＵ）。この出演するネトゲ廃人（45歳）氏は、1日のうち16~20時間をゲームに費やし、ネットゲーム上に集うプレイヤーの間で得点を競争し全国順位を争っているのだという。ネトゲ廃人には、このように長時間ずっとゲームをせずにはいられないタイプと、ゲームポイントを稼げるアプリ・アイテムに数百万円～数千万円を投じて上位を維持するタイプ、及びその混合型があるという。ネトゲでのランキングを争い、上位を維持することが人生の目的になってしまっている。そのため睡眠が4時間を切り（寝ていると競争に負けるから）、ポイント稼ぎのアプリ・アイテムにいくらでも金をつぎ込んでしまうというのである。（もちろんこのアプリ・アイテムを売るゲーム開設企業はその分大稼ぎになるが、この番組はそこに深く切り込むことはなく、ネトゲ廃人の驚くべき実態を紹介することにつとめていた。）

　　ネトゲ廃人氏は、ゲームの上位を獲得し維持するため10年20年とこの暮らしを続けており、女性との交際や結婚もしていないという。排尿排便時さえドアを開け放し、インターネットから離れる時間を少なくしていると紹介していた。司会者が行う漫才のM－1の世界を引き合いに出し、M－1の評価は不平等でもゲームの世界は平等で時間をかけて努力すれば強くなるとし、一度の人生もゲームができれば幸せとも言っていた。

〇　このような「異常」な生活を何年何十年もやらせるゲーム産業はまさにゲーム依存症のシステムメーカーであり、それで暴利を得ることは反社会的といわざるを得ない。

　　ちなみにこのネトゲ廃人氏によれば、その「仲間」は何万人何十万人もいて、その中で一位を維持することが使命感になっていると言う。やめられないゲーム依存の怖さを教える番組だった。

カジノへ前のめりする自治体と市民

１．大阪府・市　　ＩＲカジノと万博を絡めて前のめり

　　松井・吉村首長は、2025年大阪夢洲万博をＩＲ実現の手段として、その前にも実現したいとする。既に万博誘致の企画宣伝等に数億円を投じているが、11月9日「ＩＲ実施法前のタイトなスケジュールで準備をしている。府市はＩＲ事業者を選定するコンサルタント会社との契約（予算3年約3.8億円）を12月中にも公募を始める」とした。

　　ＩＲ実施法は来年の通常国会提出の予定だが、成立を待てないのだ。

　　府市は、ＩＲ事業を前倒しにして宿泊施設やＭＩＣＥ（会議、展示、見本市、イベント場など）、そして夢洲へのアクセス鉄道への建設を進めたいという。経済界にしても約束した万博への寄付400億円の分担は重く、ＩＲ事業に絡めて集金する思惑であろう。ＩＲ実施法が成立しても自治体やＩＲ施設の規模、事業者選定に時間を要し、専門知識のあるコンサル会社の選定が誘致を左右する重要工程として、前のめりで準備をするというのだ。ＩＲ実施法もないのに億を超える契約をするなど許されない。

しかし、2017年4月以来、海外の大手事業者5社が来阪し参入攻勢を強めている。米国ＭＧＭリゾーツのムーレン会長は、松井知事に対し、1兆円の投資を検討しているとアピールしたし、他にラスベガスサンズ、シーザーズ、メルコの3社も参入する申出をしている。

２．北海道・横浜・愛知・和歌山・長崎

他の自治体も誘致活動を活発化している。北海道の市町村、神奈川（横浜）、愛知（常滑）、和歌山（県・市）、長崎県（佐世保）が候補地として動いている。

　　和歌山県は、和歌山マリーナシティに誘致すべく、9月にトーマツ監査法人と契約し2018年3月末までに基本構想からカジノ事業者の誘致までを策定するという。また、長崎県も佐世保のハウステンボスへのカジノ誘致を目指し、大手監査法人と契約している。10月には県ＩＲ推進室を発足させた。北海道ではさらに北広島市においてパチンコ資本が動き出し、ますます前のめりが激しくなっている。

　　このように特区大型ＩＲカジノを夢洲、横浜市中埠頭だけでなく、北海道の留寿都村まで全国の候補自治体はカジノ誘致に手をあげ、前のめりになっているのである。

３．反対する市民

カジノに対してはどの世論調査をみても反対論が多い。このような自治体の前のめりに対し、市民はどうすべきであろうか。既に横浜市の市民オンブズマングループは、市長のカジノ準備行為への差止を求めて、9月に住民監査請求を行った。監査の結果、まだ計画が具体化してないとして却下された。また、和歌山市でも高額の発注について不法視して対処しようというグループがいる。長崎県・佐世保市も本格的な反対運動がスタートする。大阪では夢洲カジノへの公金支出3.8億円の支出差止を求める監査請求や住民訴訟の提起が可能である。

４．カジノ族議員

それにしても政治家（屋）は金で動く「ヤカラ（族）」が多い。政治資金規正法上の届出もないカジノ議連の議員に対するヤミの献金は選挙前にあったと考えてよいだろう。まず、12月1日付公表の政治資金収支報告書から点検しなければなるまい。

コラム　　　　　　　　宝くじの宣伝

　宝くじの発売元（全国都道府県及び20指定都市）は、「ワイワイ！宝くじ　高額当せん白書」という14頁のパンフレットを発行している。幸運をゲットした高額当せん者のエピソードを分類して掲載している。　　　はコメント。

１．夢のお告げ編

　　・ロト6　1等2億円　前兆は夢で見たダイヤとヘビ！？／縁起の良い夢で1等2億1759万7800円の大当り（M・Y　47歳）

　　・龍の夢が1億円の予兆に！？／龍の夢でドリームジャンボ購入、2等1億円的中（Y・S　54歳）

夢を追いかけてダイヤ、蛇、龍に「夢中」になるほど宝くじを買うのは依存症といえよう。

２．どうぶつ編

　　・吉兆ならぬ吉鳥！でナンバーズ4当せん／つばめの巣を発見し、予感でナンバーズ4を5回購入し639万500円を獲得（K・O　52歳）

　　・愛犬はかぎつけたロト6！？／10年以上毎回ロト6を購入、愛犬がそばを離れなくなり予感して1週間後、2等995万800円に当せん、幸運への嗅覚がするどい愛犬に感謝（J・S　53歳）

　　全く根拠のない事も当たりの予感があったとするもので、両者ともこれまで当たりの予感もないのに宝くじを買い続けいていたのかと問いたくなります。

３．グループ買い編

　　・親族買い作戦にせよ（H・M　49歳）　　　・同僚5人買いにせよ（K・S　34歳）

　　大量購入や10年も購入し続けるというものであるから、結局大量購入を勧めるものでしかない。

４．家族編

　　「娘のひと言」「愛妻弁当」　発売当初からの購入者にこじつけたエピソード紹介。

５．運はつづく編

　　・宝くじを趣味とする人が、ナンバー7777、8888、9999の車を見てスクラッチくじを買ったら当せん、ゾロ目のナンバーは縁起がいい（K・O　44歳）

　　・熱烈な宝くじファンが同じ日にスクラッチとナンバーズ4を購入して当たった。その夜、前に買っておいた100円くじを見ると1500万円大当り「二度あることは三度ある」（H・I　74歳）

　　「宝くじをみると買わずにいられない」と述べているように「宝くじ依存症」の人であろう。

６．宝くじ売場編

　　・売り場巡りで億万長者／高額当せん発生を掲げる売り場をめぐって順番に宝くじを購入し１億円当せん（M・M　47歳）

　　・再会のときめき／売場の女性が初恋の人に似ていた。それで3等100万円（K・I　45歳）

　　全く根拠のない宝くじ売場の当せん宣伝に依存する宝くじ依存症の事例である。発売元も根拠がないと認めているものをあえて当せんエピソードとするもので悪質である。

７．保管場所編

　　ツキのありそうな売場で宝くじを100枚以上大量購入し、部屋の隅に置いたり冷蔵庫に保管したりというもの。「ユニークな運の保管作戦が効いたのでしょう」とする。

宝くじの買いだめをいうに過ぎない。

８．継続はチカラ編

　　10年以上ロト6に挑戦したり、ミニロト（クイックピック）に挑戦していることで、当せんしたのは「がんばったご褒美」というもの。

　　継続した大量購入は統計上の確率をいうに過ぎず、それを理由に宝くじを買うようにいう宣伝は不当である。

９．ひらめき派編

　　・ラッキーセブン連鎖／買い物の合計額にピンときて、ラッキーセブンスクラッチをけずると777万円（Y・T　35歳）

　　・会社で試案していたらまるで何かに呼ばれたように宝くじ売場で1等（K・S　64歳）

　　いつも宝くじのことが脳中にあり、宝くじを買う依存を自白しているものである。

１０．理論派編

　　・独自の研究でロト6をし、当せんの夢を見て購入したら正夢に（M・S　58歳）

　　・セミの恩返し／数字選択式宝くじに挑戦している人がセミの亡骸を見てロト7を買ったら8億円当せん（K・F　76歳）

　　一体どこが理論派なのか全く不明なのに理論派と名付ける嘘である。

◎このように宝くじで一定額以上当せんするとアンケートをさせられるようで、その結果から宝くじ高額当せん者データベースをつくり、イニシャル、星座、ゲン担ぎ、くじの保管場所、当せんの秘訣などをまとめている。いずれも正当な根拠のないたあいもないものだらけ。購入枚数と当せんの関係では10枚以上を購入する者が当せん者の50％を超えているのは当たり前で、宝くじ依存症が多いことを示している。

宝くじ・スポーツくじの還元率と期待値（額）・当せん確率

宝くじは、胴元（発売元）が必ず儲かるように、客（購入者）全体の購入額に対し払戻しをする割合は１より小さいのが原則です。日本の宝くじ・スポーツ振興くじは50％（0.5）を超えないよう定められており、実質は約45％です。

なお、必ずしも当たりが発生するとは限らないくじ商品では、次期のくじに当せん金（賞金）を繰り越すキャリーオーバーという加算金システムの運用があります。この場合、全てを還元すると還元率は高くなり、次の回の売上総額に対して当せん金（賞金）が上回る計算になることがあります。しかし、日本のキャリーオーバー制はあっても１を超えないようにしていますし、宝くじやＢＩＧは全ての番号を選ぶことはできません。そして、還元率は結局53％以下です。

さて宝くじでは、連番購入と離れた番号のバラ購入の二つの方法がありますが、いずれも当せんへの期待値は同じでも、連番購入だとその範囲で1等と前後賞に当たる確率が高くなるとして連番購入をする人がいます。但し、この購入方法はバラに比べて当せん確率はわずかに減ります。平均的に当たる期待値は変わらないのですが、数学的な確率論からは連番購入は当せん確率が小さくなるのです。

　なお、14試合結果を予想するtotoやＢＩＧはキャリーオーバーがないと還元率は約32％ですが、あると53％程度です。本来、キャリーオーバーが厳正になされると還元率が1を超えることがあっても当然ですが、現実には客は発行する全てのくじを買うことはできず、またＢＩＧなど番号を選んで買えないので必ず儲けることはできません。なお、スポーツ振興くじで中止試合は当たりとみなして計算されることにより当せん確率は上がりますので、中止が出そうな台風の日で繰越金のある試合の日が狙い目という人がいますが、それでも53％止まりです。

　結局、日本の宝くじ・スポーツくじは、国・自治体にとって「確率を知らない、学ばない人間」から税金を取る最良の策なのです。

市営岸和田競輪

2017年11月24日午前11時、春木にある岸和田競輪を再訪した。この日は本競輪はなかったが、広い競輪場敷地には200未満の客がいた。4カ所の売場は全て、小倉競輪で開催しているＧ１レース（第59回朝日新聞社杯競輪杯の競輪祭　11/23～26）の場外券売場となっていた。高齢の男性客ばかりで、女性は売店の売り子ぐらいで5～10名がいたろうか。

テレビ画面には小倉レース12組の出走（1レース6枠9人）情報が映し出されている。客はその情報をもとに予想し、2枠複、2車複、2枠単、2車単、3連複、3連単、ワイドなどに賭け、配当金を狙う。

ちなみに、前日23日の成績結果表と24日の出走表が客に配られていたが、そこには選手の前回、前々回の成績や、逃・捲・差・クの決まり手等が書かれていた。（逃とは「逃げ」のことで、他車の先頭に立ち（先行）そのままゴールする戦法。捲は「捲り」のことで、レース終盤に別ラインの先行選手を一気に追い抜く戦法。差は「差し」のことで、ゴール直前に先行している選手を追い抜く戦法。クは自力型（先行・捲り）の選手の後方につける戦法で2着決まり手の「マーク」の略であろう。事実、前日23日の2位選手にはクという決まり手が多い。）

そして出走表には賞金などの情報もある。今回の小倉競輪Ｇ１レースはＳ級のレースで、各レースとも①274.0、②227.0、③202.0（千円）の賞金（１着274,000円という意味）が付されていることがわかる。

また、23日の成績結果表には各レースの発売車券の売上額の情報があり、毎回最も売上が大きいのは当たれば配当の大きい3連単で、最少は第2レース6551万3000円、最大は最終第12レース2億1277万2300円であった。ちなみに、2枠複やワイド（拡大2連勝複式：1～3着の車番を当てる）は当てやすく、発売金額は第12レースで172万168円というレベルであった。その配当は2枠連220円、ワイド170～590円になっている。23日の払戻最高額がついたのは第9レースで、2枠複で2530円、3連単（6-8-2）で117万4990円となっている。

100円が100万円以上の万車券になるのだから、購入者は“狂喜”したろう。ビギナーズでなくともこんなラックにハマったらどっぷり浸かってしまう。「それが競輪の魅力」と言うのは阿部道氏（現役時代に720勝をあげて「ミスター競輪」と呼ばれた競輪界のレジェンド的存在）の言葉である。

さて、当日の岸和田競輪場は、駐車場に車も50台ほどで閑散としており、スポーツ紙や予想専門紙の売場、有料予想案内も購入する客の姿は見られなかった。ズバリ言えば、岸和田市にしても各売店にしてもこの客数では、広大な競技場を運営しても人件費すら償えないだろう。

ちなみに、小倉競輪場では今回、「Happy４days」として様々なイベントが行われていた。

【本場】

①総額200万円が当たる！キャッシュバック抽選会／1～5レースの未発走車券面1000円分以上を受付に提示して、レースに外れたら抽選で券面金額（上限10万円）をその日のうちにキャッシュバックされるというもの。

②総額100万円つかみ取り抽選会／「3番」or「九州地区選手」が1着に入ったら、当日未発走車券500円分の提示で先着100名にガラポン抽選会。当たり各回10名に100円玉つかみ取り。

③子供向け！お菓子つかみ取り大会／「3番」or「九州地区選手」が1着に入ったら、お子様先着100名に30秒間詰め放題でお菓子プレゼント。

④来場サービス／11/23：お菓子先着1500名、11/24：先着1000名にスクラッチカード配布（1等第12レースの2車単全通り車券10名、2等クオカード100名、3等場内利用券700円分150名、4等場内食堂利用券500円分200名）、11/25：先着1500名にスクラッチカード配布（賞品は前日に同じ、1等40名、2等150名、3等200名、4等300名）、11/26：マフラータオル先着2000名

【電投】・・・電話やネットによる投票券購入

⑤現金総額400万円キャッシュバック／第一弾：対象小倉ナイター10000円以上購入した事前エントリー者を対象に、抽選で100名に2万円キャッシュバック。第二段：5000円以上購入した事前エントリー者を対象に、抽選で200名に現金1万円と競輪ポイント1万ポイントプレゼント。

【場外】

⑥小倉牛やオリジナルグッズが当たる！／20歳以上で2000円以上のハズレ券を郵送して応募。抽選で1等小倉牛2万円相当20名、2等Ｔシャツ30名、3等タオル200名、4等クオカード300名

　そして、岸和田でも「Welcome KISHIWADA」として、有料ロイヤル席または特別席購入者を対象とした抽選や、ファミリー客の子供へのお菓子詰め合わせ抽選プレゼントをするとある。

私が入場した11月24日は金曜日だったので、女性や子供の姿など全く見られなかったが、お菓子でファミリー子供客を迎えようというのは、ギャンブル場として極めて問題であろう。賭け事に凝って依存症（障害）にまで至る人や喫煙客もおり、子供の来場はパチンコ同様禁止して当然だろう。

（井上）

賭博川柳解説～日置昌一著『ものしり事典』（河出書房S28年）掲載の古い川柳句から～

「日本中　親の遊び場ばかり増え」（昌坊）

　　昭和20年代、公営競技とパチンコがどんどん増えていた時代のもの

「賭けばかり　奨励をして　税をとり」（昌坊）

　　公営賭博・宝くじは税をとる手段に他ならない。しかも貧しい者から。

「もうやらぬ　決心をして　又出掛け」（昌坊）

　　負けてても止まぬ癖になるのが賭け。今でいう依存症は昔から。

「家中を　泣かせ　小さい記事となり」（庫三）

　　賭博依存者が家族を泣かせ、事件を起こす。家族の無理心中も。

「世は正に　車券馬券に　明け暮れる」（夕帆）

　　公営賭博に明け暮れる人を集めて、金を集める自治体は博奕ヤクザと同じ。

「競輪を　追っかけている　火の車」（啓次）

　　賭け金の借金で火の車になっている者ほど、各地の競輪に出かけた。昔はそうだったが、近年はサテライト（場外券売場）やインターネットでも追いかける。

「家中を　泣かせ　競輪追い廻し」（英坊）

生活費を入れぬどころか、家族の金を奪ってでも競輪に行く。

「取返す気の　競輪の　負け続け」（一葉）

　　賭け事は全てそうなのだが・・・。

「競輪の　ビラを電車で　主婦にらみ」（君美）

　　車内広告の競輪のために、うちの亭主は家から金を取っていく・・・。

「競輪は　亭主　女房は　宝くじ」（宕雲）

　　競輪に文句を言っていた女房も、宝くじで夢を買うことに・・・。

「宝くじ　いつも当たらぬ　貧乏くじ」（昌坊）

　　本当にそうです。

「諦めて　又買ってみる　宝くじ」（昌坊）

　　わかっちゃいるが止められネー。

宝くじ・toto広告川柳

当たらない　券も売るほど　大儲け　　　　／　　千万に　たった一度と　表示せず

まさかでも　あり得る　一等賞　　　　　　／　　うちの店　当たり出ました　また買って

予想して　書かなくてよい　ＢＩＧくじ　　／　　わからねば　コンピューターが　選びます

ケイタイで　インターネットで　申し込み　／　　ロト三種　ミニ、シックスに　ロトセブン

ナンバーズ　フォーとスリーに　チャレンジね　／　宝くじ　月火水木　金金金

**いろはカルタ賭博考（２）**

**へ**　「屁をひって尻つぼめる」（江戸）、「下手の長談義」（上方）

　失敗・下品の代表、屁をひり尻に力を入れるも後の祭り。つぼめるはすぼめるの転。下手の長談義も大切なことを忘れる話となる教訓です。これを賭けでいえば無駄買いをしたり、賭けの尻拭いをすることの愚かさや、競技で本命論議に熱中する下手の賭け予想といえます。「後悔先に立たず」にするのがギャンブルの世界です。「さわらぬ賭けにたたりなし」と言いたいのですが、どうにも止まらない、わかっているけど止められない依存を生みます。それで営業が成り立つ、罪の深い業界です。

＜ペンは剣より強し？金儲けより弱し？＞　＜兵は凶器、射幸心は狂気＞

**と**　「年寄の冷水」（江戸）、「豆腐に鎹（かすがい）」（上方）

　年寄りに不相応なことをいうが、今は年寄りにパチンコ・パチスロがお似合いらしい。老人ホームでも導入するとか。頭と指を動かしてボケ防止ともいうが、豆腐のような頭にしないか心配である。１円パチンコで年寄客や女性客を呼ぶのが、近時のパチンコ店の一手法だが、どれだけ手ごたえがあるか？　賑わいを見せるも、店は結局、年に100万円以上を浪費するヘビーユーザーに支えられている。

＜隣の客はサクラの積み上げ＞　＜飛んで火に入る客は虫＞

**ち**　「塵も積もれば山となる」（江戸）、「地獄の沙汰も金次第」（上方）

　宝くじから公営競技まで、1人100円でも客が何百万何千万となれば収益は大きいと考え、戦後に導入された。これら例外的公営賭博の他、遊技として始まり換金で賭博となったぱちんこも売上は塵どころか30兆円。私営業者がボッタクリしている。「地獄の沙汰も金次第」とは資本主義の弊の一つ。狂言には、博徒が閻魔大王をギャンブル（実は詐欺）に誘って天国に行くという話がある。

＜智慧なしで胴元は儲かるしくみ＞　＜血祭りになってもカジノ＞

**り**　「律義者の子沢山」（江戸）、「綸言汗の如し」（上方）

　素行よくギャンブルも酒たばこもやらない者は、家庭円満で子沢山になる。少子社会で政府が進めたいテーマとすれば、カジノまでギャンブルを認めるのは矛盾する。安倍総理はカジノに世界最高水準の規制を求めると述べた。本来、この言葉はひっこめることはできない筈だが、現在のカジノ実施法は守られず、総理は天子でも君子でもなく綸言ではないというのだろう。

　博奕は律義に反し、虚言は綸言に反するが、嘘をついて賭博をするのはギャンブル依存（障害）であることを東西のことわざはいみじくも示している。

＜両者共に勝てず＞　＜利を追いて止まず＞

**ぬ**　「盗人の昼寝」（江戸）、「糠に釘」（上方）

　盗人は夜の稼ぎのため昼寝をする、現代の盗人は昼はパチンコに行く。「糠に釘」は「豆腐に鎹」と同じく、いくら注意をしても効き目がない。ギャンブル依存もつける薬がないに似ている。ギャンブル依存の尻拭い（イネイブラー）は「盗人に追銭」と同じ。「盗人を捕まえてみれば我子なり」まで盗人絡みのことわざは実に多い。他にも「濡れ手に粟」は博奕をする者の心情である。「濡れぬ先こそ露をも厭え」と汚れないうちは僅かな汚れも慎んでいても、一旦汚れると過ち・汚染を平気になるというが、ギャンブルにぴったりのことわざである。ギャンブル依存は、自らのギャンブル悪への自覚が第一歩である。

　＜盗んだ金でパチンコ＞　＜濡れ手のボッタクリ＞

**る**「瑠璃も玻璃も照らせば光る」（江戸）、「類をもって集まる」（上方）

　ガラスも水晶も光を受けると光る。人は射幸に弱く、ギャンブルでの初めての幸運に酔い痴れる。「類は友を呼び」「類をもって集まる」ギャンブル場。その服装、姿格好から、結局は利己主義まで同類だが、実は他人は皆「利敵者」なのである。かくて「瑠璃は脆し」と壊れやすいことをいうが、人はガラスの心を持っている。そのガラスの心とは金ぴかで滑りやすく、破れやすい。破れると元に戻らない射幸心である。「累卵の危うき」とは累を重ねる危険をいうが、公営競技場の群衆は利己心しかなく、勝者の判定に疑問があって暴徒化した歴史がある。

　＜ルールは開帳者が勝つ＞　＜ルーレットで親の総獲り＞

**を**「老いては子に従う」（江戸）、「鬼も十八」（上方）

　女の人は親、夫、そして子（男）に従うという時代は1945年まで。戦後新憲法の下で、自らの意思で道を歩むことが正しいとされた。今は老人は子と共に生活せず孤立している。そして一部はギャンブルに囚われている。落語の元祖「醒酔笑」。博奕打ちが地獄に行って色好みで鬼の娘の尻をつねると、鬼の娘は「今は昼」と言う。そしてそれを評して「鬼でも十八なら盛りで美しい」という訳。たしかに10と8なら追丁、1と8ならカブでチャンス。鬼には「鬼に金棒」「鬼に法衣」「鬼の女房に鬼神」のことわざも。

　＜鬼になって賭け続け＞　＜老いてもパチンコ＞

**わ**　「われ鍋にとじ蓋」（江戸）、「笑う門には福」（上方）

　どんな人にもふさわしい連れ合いがいるという。器量がよくない者や貧乏人でも仲睦まじく暮らすこと――金や富、欲望や射幸に囚われた生き方は戒めとなる。笑って希望をもって生きるべきだろう。だが、人には我田へ水を引く根性も消えず、賭博やくじはまさしくその典型。「わからず屋に付ける薬はない」というが、依存症もその一つ。「渡りに舟」は困った時に都合の良いことが起こること。賭ける人間は「藁にも縋る」気持ちでくじを買うが、「悪いことは重なる」で失敗する。「割れものと小娘」は壊れやすいものの例えで、ギャンブルへの期待だ。

　＜禍は射幸より起る＞　＜笑うは一度ついに泣かされる＞

ギャンブルＮＥＷＳピックｕｐ　（2017.12.2～15）

2017.12.2　　長崎　　ＩＲ運営会社が佐世保事務所開設

　　12.5　　京大　　ギャンブル依存症に関するセガサミー社との産学共同研究開始について

　　12.6　　赤旗　　カジノ廃止法案に期待　日弁連が院内集会開く

　　12.7　　立民HP　　「ギャンブル依存症対策基本法案」「カジノ法廃止法案」を衆院に提出

　　　　　　赤旗　　カジノ法廃止へ法案　共産・立民・自由・社民　４野党が共同提出

　　12.14　　時事　　ＩＲパブコメ結果、15日公表＝カジノ制度設計に反映

　　　　　　ＨＢＣ　　（北海道）北広島にカジノ構想　最大2000億円投資　パチ機メーカー平和

　　12.15　　ＩＲ推進会議取りまとめに関するパブコメの結果及び公聴会意見への回答公表

　　　　　　　日テレ　　ＩＲ構想へアイデア提案を公募（長崎県）

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

**事務局だより**

〇　最近は月1回のペースで発行する本会報ですが、発行日の1ヶ月前に原稿の多くが作成されていないと12頁を埋めることはできません。この時差で本号3頁「ネトゲ廃人」は発行日には最新報でなくなります。1月4日付朝日紙によると、ＷＨＯは今年6月にもネットゲーム依存を国際疾病（ＩＣＤ）として盛り込むとのことです。同紙は「ネトゲ廃人　世界が本腰」とし、韓国の事例として86時間没頭による死亡例が出たこと、ＰＣ房というネットカフェへのシャットダウン制が導入されたこと、ネット・スマホの過依存が人口の17.8％を占めていることなどを紹介しています。

〇　1月5日のマスメディアは、大阪府市の新年互例会を報じました。この互例会は2025年国際博の大阪誘致一色です。11月のＢＩＥ総会では関西万博というもこの大阪夢洲万博で、仏パリ、露エカテリンブルグ、アゼルバイジャンのバクーに勝とうというもの。集まった政財界の頭にあるのは大阪企業の金儲け、景気浮揚のみ、ＩＲカジノと同じです。発展途上の地方都市の国際博と経済向上が平和に貢献するかも含めて、人類全体の進歩に貢献するか等を話した者はいません。エコノミックアニマルの互例会でした。悲しいことです。

当会は財政上は専らカンパで成り立っています。

会費・カンパを下記口座までお願いします。

記

りそな銀行　北浜支店　普通０１１５７１９

口座名義：ギャンブル被害をなくす会